



Interview

知得 × 納得

特別セミナー 講師インタビュー

～多職種連携で包括ケアを推進～
医療機器・医療材料に慣れる機会を！

在宅ケアの現場で目にする機会も多い、医療機器や医療材料。ご利用者やご家族に使用法等を相談され、対応に困った経験はありませんか？今回は、「実際に見て、触って、使ってみる」医療材料についての実践的な学びのセミナーを開催します。介護や医療に携わるすべての皆様に、なかなか得難い機会・貴重な経験となるはずです。ぜひご参加ください！

棲み分けから連携強化へ！
真の意味で「患者＝利用者」
本位の在宅ケアを。

在宅療養の場で医療機器や医療材料を必要とし、場合によっては自らそれらを使わなければならない患者様やご家族は、常に「万一の事態に対処できるか」「日常の使用法、メンテナンスは正しく行なえているか」などの不安を抱えておられます。しかし一方で、医師や看護師以外、例えば在宅医療に参加している薬剤師や介護に関わるスタッフの多くには、これらを実際に扱う機会がなく、もちろん知識もほとんどない。にも関わらず、様々な相談を持ちかけられることもあると思います。というのも患者様やご家族にとっては、医療者も介護者も「毎日の暮らしを支えてくれる専門家」であることに変わりなく、どちらにも専門知識や技術が共有されていると思われるからです。

そこで今回は、在宅医療・在宅介護に携わるすべての職種の皆様に、さまざまな医療材料〔右記参照〕を実際触って学んでいただける場を設けます。

ご案内

在宅医療ではこう使う！

ドクターゴンの **知っておきたい
在宅医療の機器・材料**

著者：泰川 恵吾（通称：ゴン）
医療法人鳥伝白川会理事長
元東京女子医大救命救急センター集中治療室チーフ
企画・編集：東邦ホールディングス株式会社
発行：株式会社薬事日報社
発行所：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
B5判 71頁
定価1,800円（本体）+税
書店やamazon、楽天ブックス等でお求めいただけます。



特別セミナー講師

医療法人 鳥伝白川会 理事長 **泰川 恵吾氏**
Keigo Yasukawa

もともとこれらの機器のほとんどは、医師や看護師しか取り扱えないものばかりでした。しかし、訪問看護の開始にともない、他の職種の方も目にする機会が多くなってきました。そのため他職種の方にとってもこれらの機器や装置についてある程度慣れ親しみ、知識を習得することは有益であると考えます。日常的に患者様やご家族とふれあう介護スタッフの皆様はもちろんですが、在宅医療に参加している地域の薬剤師の皆様にも、よく使われる医療機器と医療材料への理解をより深める機会にして欲しい。このセミナーで得た知識と経験を、ぜひ将来的な特定保険医療材料その他の販売に活かして欲しいと願っています。

なお、セミナーの冒頭では、私の診療所がある宮古島の在宅医療の紹介、在宅における栄養管理の重要性についてもお話したいと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



医療材料

呼吸
(管切開カニューレ、吸引装置等)
自発呼吸ができない人・呼吸が困難な人の呼吸を助け、窒息しないための装置や機器

栄養摂取
(TPN(輸液ポンプ/経腸栄養ポンプ))
口から食事ができない人や、栄養吸収≠栄養摂取が困難な人のための装置や機器

栄養供給
(胃瘻)
胃に穴を開け、そこから栄養を注入するための装置や機器

排泄
(尿カテーテル)
排尿のための装置や機器

鎮痛
(バルーン型持続注入ポンプ)
末期がんなどで代表される持続する痛みを抱える人に、注射によって持続的に痛み止めを投与する装置や機器

九州東邦は多彩なサービスを取り揃えています！

医療材料分割販売
取扱い品目は約10,000品目！
品揃えや在庫負担にお困りではありませんか…？

在宅医療に不可欠な医療材料を1本、1枚から購入できます！

- 患者さんに合わせた品揃えが可能になります
- 在庫負担や廃棄のリスクが軽減されます
- 保管スペースの確保に困りません

音声入力による訪問看護記録作成システム
デモ機準備中！ぜひご体験ください

「こえ」で「文字」が入力できる
訪問看護師さん向けの専用端末です

- どこにいても音声やタッチで記録・報告を簡単に作成
- 訪問看護記録の専門用語も高い精度で音声変換！
- 記録書・写真・利用者などの情報が安全に共有できる
- 独自クラウド・SNSを活用した高いセキュリティを確保

自動音声認識・薬歴一体型システム
デモ機準備中！ぜひご体験ください

圧倒的な音声変換率に電子薬歴機能を融合！

- 薬歴作成の負担を軽減する高度な音声入力
- 服薬指導をサポートする薬剤検索アプリ
- クラウドサービスによる厳格なデータ管理

※どの電子薬歴でも音声入力・薬剤検索のみの利用は可能です

患者様の『困った！』をサポート
治療食・介護食新販売システム
ENIFユース

病院・施設で使用している治療食・介護食が、お近くの調剤薬局(ENIFユース加盟店)でお取り寄せ可能！
送料・支払い手数料不要
加盟店約400店舗。
詳しくはホームページで検索
<http://yuss.co.jp>

株式会社みらい町内会

高齢者にとって安心できる生活を継続することができるようにICT・IoT・Webサービスや優れた機能性・拡張性を有するスマートデバイス等を積極的に活用した高齢者向け生活支援サービス事業を「新しいつながりの形」として展開しております。

ICTを活用した
高齢者生活支援サービス

おせっかいステーション®

認知症高齢者
保護情報共有サービス

どこシル伝言板®

コミュニケーションロボット「PALRO®」

賢く愛らしい小さなコミュニケーションロボット「PALRO」。優秀な会話能力と運動能力を持ち、介護の現場をサポートする実用的な機能が多数搭載された最新のロボットです。介護スタッフの一員として働ける有能なパートナー。みらい町内会はPALROの正規販売・レンタル代理店です

ホームヘルスケア部

国として取り組みを強化している
「介護ロボ」や話題の商品を見て触って頂けます！

- 介護ロボ → 腰痛予防スーツ、見守り機器、歩行器
- その他 → 介護補助用具・加湿器・ホットパック



セミナースケジュール

401号室
A (30名)

402号室
B (30名)

409号室
C (72名)

410号室
D (72名)

413号室
E (72名)

414号室
F (72名)

502号室
G (180名)

411号室
H (180名)

A 401号室(30名)

A-1 10:30 - 11:30

演題 脱水・低栄養対策
講師 アイドゥ株式会社
顧客提案部 課長 天満 英明氏
脱水と低栄養について基本の再確認と、その対策について臨床における最新の話題を交えつつお話しいたします。

A-2 12:30 - 13:30

演題 低栄養とエネルギー補給
講師 株式会社H+Bライフサイエンス
営業本部営業企画課 学術担当 山根 由弘氏
高齢化に伴う低栄養やサルコペニア、フレイル対策。食事からのアプローチとして、医療機関で40年以上使われてきている「粉飴」の詳細な説明や使用方法をご紹介します。

A-3 14:30 - 15:30

演題 排便トラブル対策 ~腸のメンテナンスしていますか?~
講師 アイドゥ株式会社
代表取締役 位田 毅彦氏
排便トラブルは、便秘や下痢の原因について理解することで対処もスムーズになります。また小腸、大腸部位ごとにトラブルになる理由も違い、その対処方法も変わってきます。

B 402号室(30名)

B-1 10:30 - 11:30

演題 食べたい!を応援するために ~摂食嚥下障害とスライスゼリー法~
講師 林兼産業株式会社
管理栄養士 糸永 詩野氏
口から食べることの重要性和摂食嚥下障害、嚥下訓練法であるスライスゼリー法に焦点を当て、弊社の商品の紹介を交えてお話を致します。

B-2 12:30 - 13:30

演題 お豆で「健康・長寿」について・食べ易い高齢者ソフト食について
講師 フジッコ株式会社
管理栄養士 平田 恵梨氏
①「豆」に秘められた力 いんげん系・大豆の優れた健康効果を説明いたします。
②豆は食べたいけど食べにくい、その場合のフジッコのやわらか食をご紹介します。

B-3 14:30 - 15:30

演題 「ソフミート」で学ぶ高齢者ソフト食
講師 林兼産業株式会社
管理栄養士 原 貴代氏
形があるのにやわらかく食べやすい、何より見た目がきれい。そんな高齢者ソフト食について基礎から導入事例まで、当社製品「ソフミート」の使用法等をお話しさせていただきます。

C 409号室(72名)

C-1 10:30 - 12:00

演題 低たんぱく食の治療効果
講師 医療法人良秀会藤井病院
腎・透析センター長 雑賀 保至氏
主催 キッセイ薬品工業株式会社
メタボリックシンドロームは腎疾患を併発しやすいので慢性腎不全の治療法は今後も重要となります。CKD患者さんのeGFRの低下を抑え、透析導入せずに暮らすためにはどのくらいのたんぱく制限を行えばいいのかが解説していただきます。

C 409号室(72名)

C-2 13:00 - 14:00

演題 低たんぱく食事療法を実践するためのメニュー提案
講師 ハウス食品株式会社
ユーザーソリューション開発部 仲村 絵里氏
慢性腎臓病の低たんぱく食事療法は、正しく実行すれば透析導入を遅らせることができます。食事療法を行う一手段とし、「低たんぱくミート」で簡単においしく作れるメニューのご提案をいたします。

C-3 14:30 - 15:30

演題 下痢・便秘 ~排便コントロール改善に取り組んでみませんか?~
講師 ネスレ日本株式会社
泉谷 宗氏
PHGGによる排便トラブル改善。「排便周期」を知ること無駄な下剤を減らす、多くの医療機関が導入を始めた「排便日誌」の活用方法。排便コントロール改善による医療経済効果を検証するコストシミュレーションツールをご紹介します。

D 410号室(72名)

D-1 10:30 - 11:30

演題 スッキリ元気な腸の作り方 ~腸を育てる食物繊維~
講師 太陽化学株式会社
博士(学術) 石原 則幸氏
排便トラブルは、本人だけでなく看護・介護する側にも負担になっています。身近な事例を取り上げ、排便ケアと高機能な水溶性食物繊維(PHGG:グァーガム分解物)の有用性を紹介します。

D-2 12:30 - 13:30

演題 嚥下障害について
講師 ニュートリー株式会社
山田 光紀氏
近年では経口摂取の維持・促進への取組みが重要視され「口から食べる」ことに関心が高まっています。摂食・嚥下の基礎、嚥下食の調理ポイントや導入まで、事例を交えてご紹介します。

D-3 14:00 - 15:30

演題 認知症の栄養管理について ~疾患ごとの特徴と食べさせケアに配慮して~
講師 キューピー株式会社 フードサービス本部 営業部
メディカルチーム 庄司 龍市氏
認知症では病気の進行が食事に深刻な影響を与えます。それは嚥下障害の発症や味覚異常だけでなく患者の食行動の変化です。本セミナーでは認知症の特徴に対応する食事ケアを考えます。

E 413号室(72名)

E-1 10:30 - 12:00

演題 病院・施設給食の現場における現状の課題と、将来を見据えた取り組み
講師 スリーマウス株式会社
代表取締役社長 山口 浩司氏
現状病院・老人ホーム等の施設給食現場では、管理栄養士、栄養士、調理師、調理補助員等で厨房業務を運営しているが、実際は厨房の適正人員通り配置され運営しているところは少なく、殆どの病院・施設の厨房は、人員不足で運営されているのが実態であります。今後は人口減少の中、高齢化が進み、それに伴って有料老人ホーム等の施設、又在宅サービスが増加していく中で、我々給食業界では、どのような形で食事提供をしていかなければならないかをお話しさせていただきます。



E 413号室(72名)

E-3 14:00 - 15:00

演題 フレイル・サルコペニア・低栄養とリハビリテーション栄養
講師 長崎リハビリテーション病院 教育研修部栄養管理室
室長管理栄養士 西岡 心大氏
主催 株式会社フードケア



フレイル・サルコペニア・低栄養はいずれも高齢者に生じ、生活の質を低下させる要因となります。これらをリハビリテーションと栄養管理の融合によって解決しようとする概念「リハビリテーション栄養」について解説します。

F 414号室(72名)

F-1 10:30 - 12:00

【演題1】
演題 非常食から災害食へ ~災害多発時代の食の備え方~
講師 ホリカフーズ株式会社
経営戦略室室長 別府 茂氏

日本はこれまでにM6.0以上の地震が多数発生しており、いついかなる時に大地震が起きてもおかしくない状況です。災害時の食事を考えていただきたく、食の備え方についてお話しします。



【演題2】
演題 高齢化の進展と介護食
講師 ホリカフーズ株式会社
経営戦略室室長 別府 茂氏
1.高齢化と食べることができない障害
~摂食嚥下障害について~
2.食べることができない時の栄養補給法
3.介護食の種類と位置づけ

G 502号室(180名)

G-3 14:00 - 15:30

演題 医療・介護報酬同時改定目前!!
~求められるシームレスなサービス提供と、そのポイント~
講師 株式会社ネグジット総研
経営コンサルティング部 中野 康三氏



平成26年からの病床機能報告制度や、その後の地域医療構想策定を経て、足元では2025年地域包括ケア構築の前段階となる「将来の医療需要」と「目指すべき医療提供体制」が具体的に整備されつつあります。この上で、今回の同時改定では医療・介護のシームレスな連携へより一層の舵が切れ、医療機関と介護事業者間の丁寧な連携調整や情報共有の質にスポットが当たると考えられます。今回のセミナーでは医療と介護の求められる連携についてお伝えいたします。

H 411号室(180名)

H-1 10:30 - 12:00 (日本薬剤師研修センター 1単位)

演題 在宅医療と栄養管理
~宮古島の事例~
講師 医療法人鳥伝白川会
理事長 泰川 恵吾氏



中々知ることが出来ないですが、在宅医療の栄養管理は大変重要です。宮古島と湘南エリア鎌倉で在宅医療をされているドクター・ゴンこと泰川恵吾先生に在宅栄養管理についてご紹介を頂きます。特に離島在宅医療の課題は、これからの日本の在宅医療の課題です! 必見です。

H-2 13:30 - 15:30 (日本薬剤師研修センター 1単位)

【第一部】30分
演題 保険薬局は地域包括ケアシステムの流通拠点!
講師 東邦ホールディングス株式会社
地域医療連携推進室長 伊藤 大史氏

高齢者率26%超え! 地域包括ケアシステムの枠組みが各地で進みます。中心は在宅医療です。地域包括ケアシステムの中で、まちの保険薬局の機能を知り、活用しましょう!

定員 80名

【第二部】90分

演題 ドクターゴンの在宅医療に必要な医療材料
~見て・触って・覚えて...在宅へ飛び出そう!~
講師 医療法人鳥伝白川会
理事長 泰川 恵吾氏



在宅医療で医療材料はなくてはならないものです。泰川先生に一つ一つ使い方を触りながら学ぶ大変人気の貴重な会です。グループワーク形式で行いますので、多職種の皆様と共有しながら進めて参ります。医療材料は多職種をつなぐ!是非ご参加ください。
●気管切開カニューレ ●吸引装置
●TPN/HPN ●輸液ポンプ/経腸栄養ポンプ
●バルーン型持続注入ポンプ
●胃ろうカテーテル ●尿カテーテル

お申し込み方法

1 FAXでのお申込み
FAX専用申込用紙に必要事項を記載の上、株式会社ユース(0120-602-802)までFAXしてください。

2 メールでのお申込み
右記のお申込みフォーム(QRコード)にアクセスし、必要事項をご記入の上、送信してください。



◎お申込みに関するお問い合わせ
株式会社ユース TEL:092-641-3153
〒811-2308 福岡県福岡市東区箱崎心頭3丁目4-46
ホームページ: <http://yuss.co.jp/>